



引 6204 44
 送製局刷印
 行誠省信通

上 三 十 三
 三 十 三
 三 十 三

在 監 市 个 谷
 在 監 市 个 谷

年 方 月 日
 年 方 月 日

七 七 七
 七 七 七

十 十 十
 十 十 十

便 七 七 七
 便 七 七 七

集 集 集
 集 集 集

集 集 集
 集 集 集



東京監獄



郵便

東京市込反市个谷

東京監獄在監

田七
在川三四郎様

十
七
七
七
七

荏原即下
田里村

三三六
上
司
十
念

四年三月十日



71
6204
44

造製局耐印

行發省信通

けし無少はなりました。追々梅雨の期々入りますから、
獄申生活は嘘かしの陰気なところであらうと思っております、
はな今野岡や婦人でも昔々のはけい息を知り、お突
りの無二のものも喜んであります、夕口ポトキの自傳を
お讀ませました、さうして、僕も傳文のいふに、故き
清々をしましました、全部通讀をしようと思つてまた
その折を得ようと思つた、おま、おま、昔々のけたよ
りにもあります、通り合格して一年志願をやり
ました、お身体をおたのびに預ります、六月九日